みどり《適塾》

大阪大学のルーツとしての「適塾」文化と「みどり」テクノロジーの融合第 10回デザイン思考勉強会(2020/2/1)

生物を起点とした『みどり』テクノロジーによるオープン・イノベーションを実現する

Open

innovation

コミュニティレベルの

外部資金の共同申請

普及促進

科学者が持つ

シーズ

社会や自治体が 持つニーズ

遺伝子組み換え体への理解

技術の社会実装

カルタヘナ法

「みどり」テクノロジー

「植物などの生物由来の科学的知識を、社会の問題解決に実装するために具体化する方法」

みどり《適塾》では、ホタルよりも100倍以上明るく光る化学発光タンパク質をはじめとした植物活用テクノロジーの実践を共に考える議論を2016年9月16日に開始しました。

第10回目となる今回のデザイン思考勉強会では、「発熱するソテツの再発見と発熱植物研究の新展開」と題したテーマに関する話題提供を宮崎大学の稲葉 靖子 先生からいただき、みどりテクノロジーを社会の問題解決に役立てる方法について、皆様と議論を行いたいと思っております。

社会の様々な方々(企業やみどりテクノロジーに興味を持たれる方々)・自治体との連携によるオープン・イノベーションを実現するため、本会の趣旨にご賛同をいただける皆様のご参加と、協働ができることを心よりご期待申し上げております。

日 時:2020年2月1日(土) 14:00~18:30

場 所: グランフロント大阪 北館 タワー C 9階 902 号室

大阪大学工学研究科 オープンイノベーションオフィス

(〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町 3-1)

参加費:1,500円 <※交流会費用込みとなっております>

14:00~14:30 受 付

14:30 ~ 14:45 概要説明 永井 健治 塾頭 (大阪大学 栄誉教授)

14:45 ~ 15:45 話題提供 「発熱するソテツの再発見と発熱植物研究の新展開」

話題提供者:宮崎大学農学部 植物生産環境科学科 准教授 稲葉靖子 先生

15:45~17:15 質疑応答・討論

17:30~18:30 交流会

<主催> みどり《適塾》会(http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/RAIS/business/b2/b2-2/midori.html)

<協力> 大阪大学産業科学研究所·(一財)大阪大学産業科学研究協会

(一社)地域創生連携活動コンソーシアム・(一社)テラプロジェクト

申し込み先:みどり《適塾》会 事務局

(E-mail: midoritekijuku@sanken.osaka-u.ac.jp FAX: 06-6879-8448)